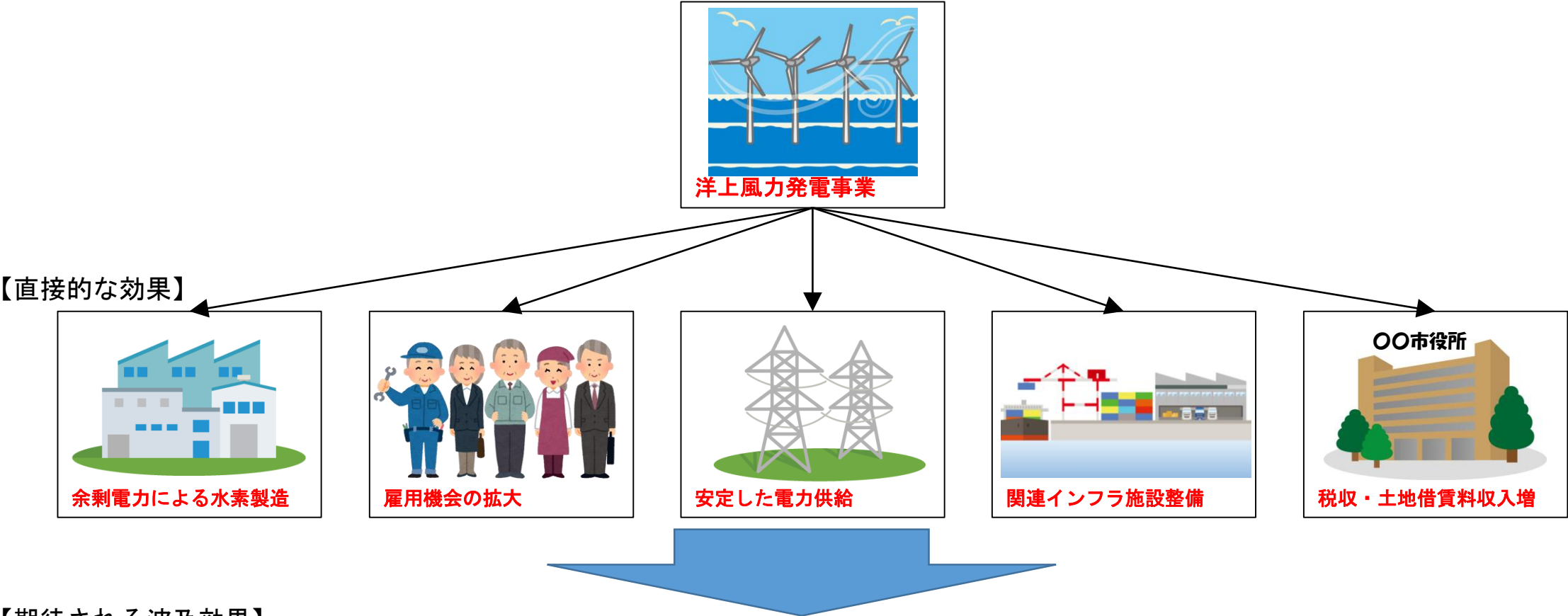


壺岐市説明資料

令和3年4月20日
白川壺岐市長 提出資料

洋上風力発電導入により想定される地域への効果（メリット）



【期待される波及効果】

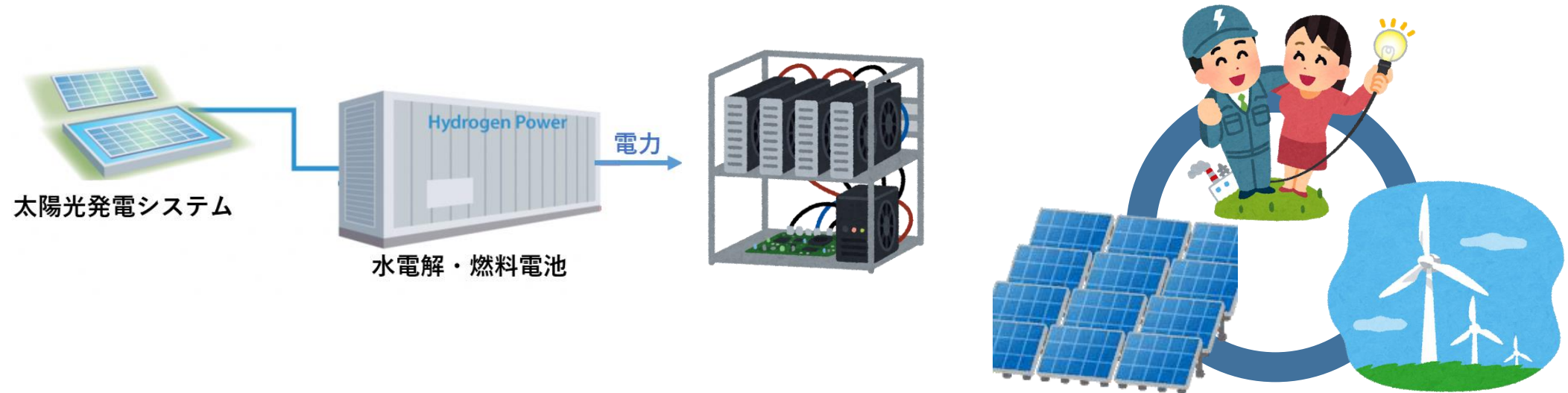


【経済波及効果の試算について】

発電規模 (原発1基分)	設置基数 (9.5MW級換算)	維持管理に伴う 経済波及効果①	観光に伴う 経済波及効果②	経済波及効果 合計 (①+②)
100万kW (1,000MW)	105基 (着床35,浮体70)	3,289百万円/年	5百万円/年	3,294百万円/年

■再生可能エネルギーの導入による地域活性化の具体例

- 本市は、地震発生がほとんど無い安全な島>>>データセンターなどの立地には最適!!!
- データセンターでは多くの電力を消費
 - ✓ 再エネ由来の電力の安価かつ安定的な供給体制を構築し、誘致体制を整備!
 - ◆ 地産再エネ（太陽光、（洋上）風力等）＋蓄電（水素、蓄電池）による再エネ安定化!
 - ◆ 地域新電力会社により再エネ電力を安価に供給>>>雇用の場も創出!!



■国にお願いしたいこと

- 日本版セントラル方式の早期導入
 - ✓ 漁業や地域との共生・合意形成=>国と地方自治体の協力連携が必要!!
 - ✓ 電力系統への接続の確保=>玄海原子力発電所送電網への接続(コスト的アドバンテージ大)
 - ✓ 環境影響評価=>従来の取組みで蓄積したデータの活用
 - ・平成28年度風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業
 - ・令和元年度～令和2年度長崎県洋上風力発電に係るゾーニング実証事業

※上記の点を踏まえ、**本市を日本版セントラル方式導入に向けた実証フィールド**として活用していただければ、**全市を挙げての協力体制**を整えて対応いたします。